

# 中間見直しについて

## 背景

平成 24 年 3 月に「大田区環境基本計画」を策定してから 5 年が経過するなかで、環境政策をめぐる社会情勢は大きく変化しました。このような状況を踏まえ、これまで実施してきた取組みをより効果的に進めていくため、平成 28 年度に計画の施策体系や取組内容等に関する中間見直しを行いました。

## 重視した点

### 視点1 環境マインドの拡大



計画の取組みは、区民等、事業者、区が一体となって進める必要があることから、環境保全の姿勢や使命感、すなわち「環境マインド」の更なる充実、拡大を図ります。

### 視点2 快適で安全な暮らしの実現



東日本大震災や熊本地震などを踏まえ、災害時に有害物質の流出を防止する事業所の危機管理対策、公共施設の太陽エネルギー等の災害時の活用方法など「快適で安全な暮らし」に向けた取組みを、環境の視点から見直します。

## 計画の基本的事項

### 目的

区の施策を環境という視点から整理・体系化するとともに、区が策定する個別計画や事業等に対して、環境の保全に関する基本的方向を示すものです。  
また、区民等、事業者が日常生活や事業活動等に際し、環境の保全及び創造に関する取組みを主体的にかつ協力して実践していくための指針となるものです。

### 期間

大田区環境基本計画は、平成 24 年度から平成 33 年度までの 10 年間の計画としています。後期計画は、平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年を対象とします。

### 位置づけ

- 大田区環境基本条例に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための最上位計画
- 「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」、及び「生物多様性地域戦略」を包含



絶滅のおそれのある渡り鳥  
コアジサシ  
(森ヶ崎水再生センター屋上)



# 大田区環境基本計画（後期）

## 概要版



# 環境像と基本目標

## <大田区が目指す環境像>

環境と生活・産業の好循環を礎とした  
持続可能で快適な都市（まち）

### 重点プロジェクトとは

大田区が目指す将来の環境像の実現に向け、区民等、事業者及び区の連携のもとで、重点的かつ優先的に具体展開を図っていくべき主要な施策・事業を「重点プロジェクト」として選定しています。また、本計画が掲げる6つの基本目標の確実な達成を図るため、基本目標ごとに1つの重点プロジェクトを定めています。

**基本目標 A**  
環境と産業の調和の実現と好循環の創出（産業）

**重点プロジェクト A**  
産業分野の取組みを推進するための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備



**基本目標 B**  
快適で安全な暮らしの実現（公害・安全）

**重点プロジェクト B**  
沿道環境の保全対策



**基本目標 C**  
低炭素社会の構築（温暖化対策）  
（大田区地球温暖化対策実行計画（区域施策編））

**重点プロジェクト C**  
環境にやさしいエネルギー等の導入拡大



**基本目標 D**  
自然共生社会の構築（生物多様性）  
（大田区生物多様性地域戦略）

**重点プロジェクト D**  
生物多様性の保全・再生



**基本目標 E**  
循環型社会の構築（リサイクル）

**重点プロジェクト E**  
ごみを出さない生活への転換



**基本目標 F**  
持続可能な地域づくりのための学習と参加の場の創出（環境学習）

**重点プロジェクト F**  
環境マインドを持つ人材の育成



区民が選ぶ「大切な環境」  
（場所）

1位  
多摩川

2位  
池上本門寺

3位  
洗足池

4位 平和の森公園

5位 萩中公園

6位 東京港野鳥公園

7位 大森ふるさとの浜辺公園

8位 多摩川台公園

9位 呑川

10位 六郷用水

11位 田園調布せせらぎ公園

参考：区民アンケート調査（平成28年6月）

### 自然観察路

大田区の代表的な自然環境を観察するのに適した5つの自然観察路があります。

#### ① 縄文のみち

本門寺公園、本門寺社寺林、池上梅園をめぐるコース

#### ② 雑木林のみち

多摩川から田園調布駅までの道のりを歩きながら雑木林の自然を観察するコース

#### ③ 池のみち

洗足池を一周しながら、池と周辺の林を観察するコース

#### ④ 川と干潟のみち

六郷橋から大師橋まで多摩川にそって、川・干潟・あし原・グラウンドなどの代表的な自然を観察するコース

#### ⑤ 海と埋立地のみち

海と干潟にすむ生き物や水辺の鳥たちを観察するコース

### A コアジサシの人口繁殖地 （森ヶ崎水再生センター屋上）

絶滅のおそれのある渡り鳥・コアジサシの保全のため、NPOが人工繁殖地を創出、管理し、生態調査を実施しています。平成28年までに累計8,668羽（推定）のヒナが生まれました。



# 大田区の自然環境（大田区生物多様性地域戦略）

## 重点プロジェクト 「生物多様性の保全・再生」

### <ポイント>

- みどりを増やし、質を高めること
- 水辺や緑を活かしたエコロジカルネットワークの形成を図ること

- ◆生物多様性とは  
昔からその土地にいた様々な生き物が、多様な環境の中でお互いにかかわりあって生きること
- ◆エコロジカルネットワークとは  
区内に点在している、生き物の生息拠点となるまとまりをもった緑地を、河川、小規模な緑地や街路樹などでつなぎ、生き物が移動できるようにネットワーク化すること

大田区にも様々な自然があるびよん！

© Ota City



## 大田区内で見られる生き物の一例

カワセミ	ニホントカゲ（幼体）
■洗足池、東京港野鳥公園 ★東京都 絶滅危惧Ⅱ類（VU）	■六郷用水 ★東京都 絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）
キセキレイ	ウナギ
■呑川、東京港野鳥公園	■呑川、多摩川 ★環境省 絶滅危惧ⅠB類（EN） ★東京都 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
トビハゼ	キツネノカミソリ
■多摩川大師橋干潟 ★環境省 準絶滅危惧（NT） ★東京都 絶滅危惧ⅠA類（CR）	■田園調布せせらぎ公園 ★東京都 絶滅危惧Ⅱ類（VU）
■大田区内で観測された主な場所 ★環境省レッドリスト（2015）、レッドデータブック東京（2013）上の位置づけ 写真：「大田区自然観察路「池のみち」「雑木林のみち」「川と干潟のみち」等の生物・植物調査	

## 大田区内で見られる主な外来生物



アメリカザリガニ  
（田園調布せせらぎ公園で撮影）



ミシシッピアカミミガメ  
（宝来公園で撮影）



ウシガエル  
（多摩川河川敷で撮影）



アレチウリ  
（多摩川河川敷で撮影）

外来生物とは、国内外を問わず、人間の活動によって、もともとその地域にいなかったのに、他の地域から入ってきた生き物のことです。

### 【外来生物被害予防3原則】

- 1 入れない ~悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に入れない
- 2 捨てない ~飼っている外来生物を野外に捨てない
- 3 拡げない ~野外にすでにいる外来生物は他地域に拡げない



# ご家庭でできる環境にやさしい取り組み



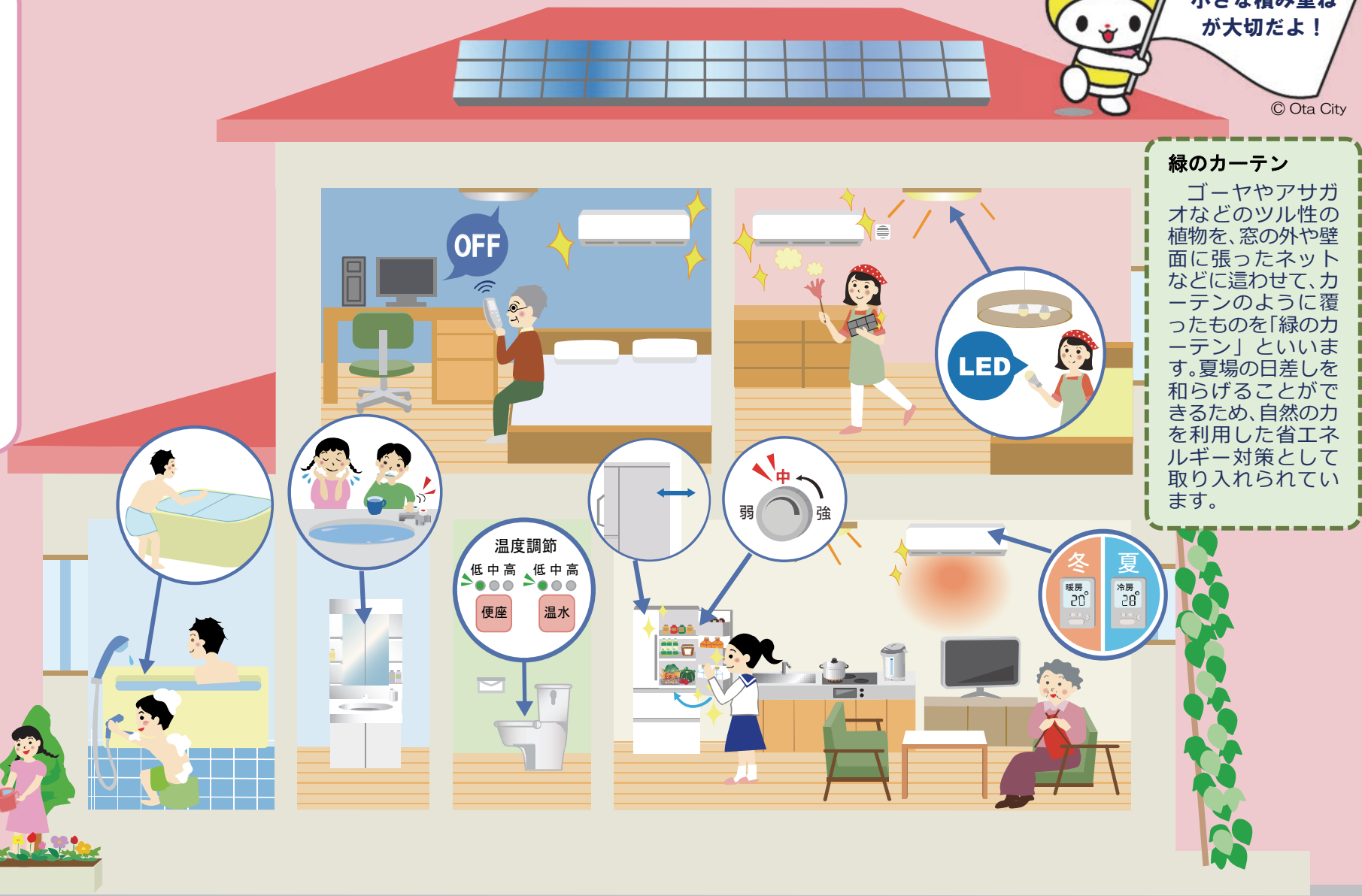
© Ota City

◆ リビングで	年間の節約額	CO <sub>2</sub> 削減量
<input type="checkbox"/> テレビの画面は明るすぎないように設定する	(700 円オトク)	(13.3kg)
<input type="checkbox"/> 冷房時のエアコンの室温は 28℃を目安にする	(780 円オトク)	(14.8kg)
<input type="checkbox"/> 暖房時のエアコンの室温は 20℃を目安にする	(1,380 円オトク)	(26.0kg)
<input type="checkbox"/> エアコンや換気口のフィルターを月 2 回清掃する	(830 円オトク)	(15.6kg)
◆ キッチンで		
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫の設定温度を季節に合わせて調整する	(1,600 円オトク)	(30.2kg)
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫は壁から適切な間隔で設置する	(1,170 円オトク)	(22.1kg)
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫は無駄な開閉をしない	(270 円オトク)	(5.1kg)
<input type="checkbox"/> 食器を洗うときは温水を低温に設定する	(1,130 円オトク)	(19.1kg)
◆ お風呂・洗面所・トイレで		
<input type="checkbox"/> お風呂のふたを閉める	(2,250 円オトク)	(38.2kg)
<input type="checkbox"/> 歯磨きや洗顔をするとき、水の流しっぱなしをやめる	(890 円オトク)	(2.6kg)
<input type="checkbox"/> 電気便座の設定温度を低くする	(680 円オトク)	(12.9kg)

- ◆ ごみを捨てるときは
  - 生ごみの水切りをする
  - 資源はきちんと分けて、資源回収に出す
- ◆ 移動するときは
  - 徒歩、自転車や公共交通機関（電車・バス）などを利用する
  - 電気自動車やハイブリッド車などを利用する



© Ota City



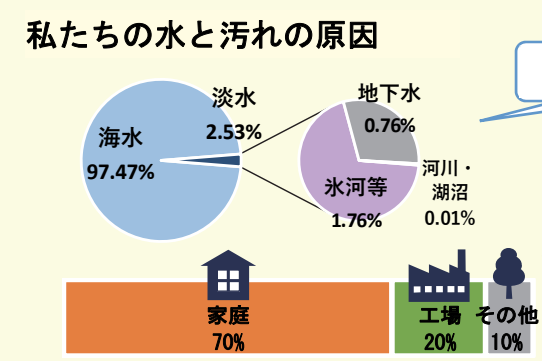
**緑のカーテン**  
 ゴーヤやアサガオなどのツル性の植物を、窓の外や壁面に張ったネットなどに這わせて、カーテンのように覆ったものを「緑のカーテン」といいます。夏場の日差しを和らげることができ、自然の力を利用した省エネルギー対策として取り入れられています。



**食品ロス**  
 食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本では、生産・輸入される食品のうち、約5分の1が廃棄されています。廃棄された食品の約30～45%がまだ食べられるものであり、約半分が家庭から出ています。

**食品ロスを減らすには？**

- ・食べきれぬ量を注文する。期限内に食べられる量を買う。
- ・野菜の皮や茎等を使い切るよう心掛けるなど、料理の創意工夫をする。



**地球上の水の量**  
 地球上の水のうち、利用できる水はわずか 0.01 %

**水の汚れのものは何？**  
 いろいろな場所で水を利用していますが、水の汚れの一番の原因は家庭です。

**水をなるべく汚さないために**

- ・米のとぎ汁は植木の水やりに
- ・食器を洗う前に汚れはふき取って
- ・残った油は再利用 捨てる際は新聞紙などに吸わせる

# 事業所でできる環境にやさしい取り組み

- ◆ 日々の業務の中で
  - 節水やペーパーレス化など、省資源化に取り組む
  - 事業所内のエネルギー使用量を把握し、省エネ、節電に努める
  - グリーン購入に努める



- ◆ その他事業活動における環境活動
  - 事業所内を積極的に緑化し、適切に維持管理する
  - 地域で行われる自然環境の管理・保全活動に積極的に参加する
  - 事業活動内容、事業に伴う環境負荷の状況、環境保全のための取り組み内容等について、情報を公開・発信する
  - 環境に関する社会貢献活動（CSR 活動）を事業所の姿勢としてアピールする



参考：クール・ネット東京 東京都地球温暖化防止活動センター 家庭の省エネハンドブック（平成 28 年 3 月）  
 （節約額は 1 年間取り組んだ場合の一例）

# 地球温暖化対策（大田区地球温暖化対策実行計画（区域施策編））

## 低炭素社会の実現に向けて

平成 28 年 11 月に、地球温暖化対策の新たな国際的枠組み「パリ協定」が発効し、「産業革命前からの世界平均気温の上昇を 2℃より十分低く保つ(1.5℃に抑える努力をする)」という共通の目標が設定されました。

大田区では「大田区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に掲げる施策や削減目標を見直し、区民等、事業者と一体となった取組みを推進していきます。

## 地球温暖化の影響

日本の真夏日の日数は  
どうなるの？

2100 年末における  
真夏日(最高気温30℃以上)の  
年間日数予測

出典)環境省・気象庁  
日本国内における気候変動予測の  
不確実性を考慮した結果について

西日本日本海側  
(参考都市：福岡)  
約 **124**日  
(現在の日数：約57日)

東日本日本海側  
(参考都市：新潟)  
約 **91**日  
(現在の日数：約34日)

西日本太平洋側  
(参考都市：大阪)  
約 **141**日  
(現在の日数：約73日)

北日本日本海側  
(参考都市：札幌)  
約 **48**日  
(現在の日数：約8日)

北日本太平洋側  
(参考都市：仙台)  
約 **34**日  
(現在の日数：約0日)

東日本太平洋側  
(参考都市：東京)  
約 **105**日  
(現在の日数：約49日)

沖縄・奄美  
(参考都市：那覇)  
約 **183**日  
(現在の日数：約96日)



このままでは東京は  
ますます暑くなって、  
ゲリラ豪雨などが  
起きやすくなるよ。

© Ota City

2100 年末 真夏日の年間日数予測  
**東日本太平洋側**  
(参考都市：東京)  
約 **105** 日  
(現在の日数：約 49 日)

## 大田区の温室効果ガス排出量の削減目標

### ◆温室効果ガス排出量の削減目標

平成 42 年度（2030 年度）までに **平成 25 年度（2013 年度）比で 26% の削減**

### ◆エネルギー消費量の削減目標

平成 42 年度（2030 年度）までに **平成 25 年度（2013 年度）比で 20% の削減**

### ◆温室効果ガス排出量のあるべき姿（長期理念）

平成 62 年度（2050 年度）までに **現状から 80% の削減**

## 省エネルギー型の行動様式への転換

- ・家庭における省エネ型行動様式（生活様式）への転換



地球温暖化防止講演会



子ども環境教室

## 低炭素まちづくり

- ・ヒートアイランド対策の推進



緑のカーテン講習会



打ち水大会

## 環境にやさしいエネルギー等の導入拡大

- ・区有施設への積極導入
- ・住宅用太陽エネルギー利用機器等の設置拡大



障がい者総合サポートセンター  
太陽光発電設備 5kW  
(壁面緑化・屋上緑化・沿道緑化)



住宅用太陽光パネル  
(イメージ)

## 地球温暖化対策を促すための主体間連携の強化や新たな仕組みの整備

- ・大田区地球温暖化対策地域協議会との連携  
(区民、事業者、区が協働で温暖化防止活動に取り組んでいます。)



セミナーの開催



イベントへの出展

## 大田区役所の取組み

大田区役所では「大田区役所エコオフィス推進プラン」を策定し、区の事務事業に伴う環境負荷の低減に取り組んでいます。

★削減目標 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量：平成 31 年度までに平成 21 年度比で 15%削減

# みんなで取り組む環境活動

## 「エコフェスタワンダーランド」に参加しよう！ テーマ「地域から考える地球の未来」

毎年、小学校を会場として、区民団体や NPO、企業・事業者と区が協働し、主に子ども達を対象に、環境について楽しく学べるイベントを開催しています。

教室や体育館をブースにして、工作・実験や展示など楽しいコーナーがたくさんあります。



## ごみ減量について学ぼう！

スケルトン清掃車「ごみ ZERO」号を使って、小学生への環境学習を行っています。



© Ota City

## 家庭に眠っている貴重な資源 「小型家電」をリサイクルしよう！

小型家電には金・銀等のレアメタルが含まれており、再生利用が可能なものが多くあります。大田区では、庁舎や図書館などの施設に小型家電回収ボックスを設置し、リサイクルに取り組んでいます。

### 小型家電回収ボックスの回収品目

携帯電話 	携帯機器 プレーヤー 	携帯ゲーム 機器 	デジタル カメラ 	ポータブル ビデオカメラ 
ポータブル カーナビ 	電子辞書 	卓上計算機 	AC アダプター 	USB メモリ 

## 呑川水質浄化対策について知ろう！

白濁化やスカムなどの問題が発生している呑川の水質浄化のため、総合的対策を検討するとともに、スカム発生抑制装置の設置、高濃度酸素水による浄化、河床整正などに取り組んでいます。



## 「大田区環境マイスター養成講座」 を受講しよう！

環境に関する幅広い知識の習得と、自然観察会や生物調査などの実践活動を行って、地域で活躍してみませんか？

地域の環境学習における中心的な役割を担う環境マインド（環境保全の姿勢や使命感）を持った人づくりを目的として、講座を開催しています。



## 区内の自然を観察しよう！

NPO と連携し、区内の自然環境の理解・保護を促進するため、様々なテーマで自然観察会を開催しています。



## 環境活動団体・NPO 活動の一例



蒲田、大森駅前等の花壇の手入れをはじめ、花とみどりを守り育てる活動を行っています。



田園調布せせらぎ公園を中心に、親子自然観察・体験会を開催しています。



「うのき水辺の楽校」、「羽田水辺の楽校」では、子どもたちの河川の利用を促進し、体験活動の充実を図るため、多摩川の水辺や干潟を活用して、様々な活動を実施しています。

